

セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE WINTER

## ルカ新聞

No.34  
2019.12.

Fondation Claude Monet (フランス ジヴェルニー : モネの池)

柘榴ざくろ

もし主が家を建てるのでなければ、それを建てる人々は空しく労苦することになる。  
もし、主が町を守るのでなければ守る人は空しく見張ることになる。

詩編127章1節

ソロモンの詩です。私たちが家を建てるにも、敵の攻撃から町を守るにも主の御心に沿っていることが最も大切だとつたっています。海王星を舞台にしたSF映画を見ました。アポロ計画で月面に降り立った宇宙飛行士はその経験から、その後、宣教師になりました。理論物理学では、宇宙は幾層にも重なっており、その中の一つに私たちは存在しているそうです。われわれの目に見える広大な宇宙は確かに、何か無限の大いなる意志によって成り立っているように感じられます。ひるがえって、私たちのこの地上における日々の働きにおいては、きゆうきゆうと小さなことにこだわりながらも、その結果がいかなる成果をもたらすか、いつも心配しながら、少しでもよき方向へ向かい、隣人が少しでも喜んでくれるようにと急じています。その結果、少しは満足したり、はたまたがっかりしたり、反省したりと、己の未熟さを自覚させられる日々です。うまくいかなかったときには「神様は私に何を求めたのか」と自問自答します。しかし、今の結果がどうあろうとも、神様のご計画は我々には想像もできないほど遠大なことがあります。神様は「わたしの思いは、あなた方の思いとは異なり、わたしの道はあなた方の道とは異なる。(イザヤ書55章8節)」とも言われています。我々にはこの日々の業務が神様の御心に沿っているよう祈るしかありません。自分で建てたこの家は、実は、神様が建ててくださったと信じて。



## 巻頭言

院長 宇津宮 隆史

この1年は日本の生殖医療の歴史においても、セント・ルカ産婦人科27年間の流れの中においても、大きな発展、変革があった年であった。まず、日本の生殖補助医療(ART)の件数が減少し始めた。日本産科婦人科学会(日産婦)の報告では、2016年に比べ、2017年はARTの件数が横ばいになった。これは団塊の世代のジュニアが生殖年齢を超えたことにより、今後は不妊治療年齢層が減少することを表している。しかし、女性の社会進出で今後ますます高齢妊娠希望者が増加するであろう。よって、今後はARTの質が問われるようになると思われる。我々はいかにして効率よく、難しい症例に対して効果的な治療戦略を選択するか、特に配偶子の質の向上にはどのようなレシピが有効か、などが競われる。

そのなかで、着床前胚遺伝子検査(PGT)の中の異数性検査(PGT-A)のパイロットスタディ(PS)が終了し、いよいよ本番のPGT-A特別臨床研究が開始される。そのための施設認定、検査所認定が行われている。PSでは顕微鏡下での判定で良好胚とされた胚でも異数性が75%あり、正常胚は25%しか存在しなかった。また、その25%を移植した結果、妊娠率は70%、流産率は11%であったと、これは良好な結果であり、その成果は名古屋市立大学の佐藤剛先生、杉浦真弓先生のお働きでHuman Reproductionに掲載されることになった。今後は、特に高齢者に有効なこのPGT-Aが自由に、ルーチンワークとして活用されるようになることだろう。それによって治療期間の短縮、流産しない有効な妊娠が期待される。そのためには少なくとも顕微鏡下での良好胚盤胞が5個以上は必要であるため、本当に患者さんのためになる正しい治療法といえる調節刺激法に習熟する必要がある。

PGTでは、検査を行う検査所、その検査結果を正しく解釈する判定者、そしてそれを受けて治療をする医療機関と、3つのチームワークで成り立つ。PSでも経験したことであるが、医療機関ではPGT-Aによる胚の検査結果があいまいな評価で返ってきた場合、それを説明できる遺伝学的知識も要求される。その結果の解釈の仕方、それに基づいていくつかのオプションの提示、そして患者さんとどの方策を選ぶか決定するという難しい局面が待っている。少なくとも「Thompson & Thompson : Genetics in Medicine」は読んで理解しておく必要があると思う。

生殖医療での遺伝学的診断とえば、マスコミは「いのちの選別」と色めき立って報道するが、もともとARTでは1978年の成功以来、胚を顕微鏡下に「選別」してきた歴史がある。それだけでは不十分であるため、タイムラプスや呼吸量測定、培養液内の代謝産物計測などが試みられた。さらに今回はその大きな要素となる胚の異数性検査にステップが進んだのである。それには次世代シーケンサー(NGS)を用

いるが、将来的には様々な遺伝子変化も検査可能になると思われ、その際にはまた適用条件のコンセンサスが広く要求されるであろう。

今回は、さらに“重篤な”疾患ともいえる網膜芽細胞腫(RB)という遺伝性の網膜のがんの着床前単一遺伝子検査(PGT-M)が申請された。RBは2段階の遺伝子変異が起こってから発症するが、遺伝的にこの遺伝子を既に一つ持っている場合は次の変化が起こるだけで眼球摘出、抗がん剤投与を行わねばならない。これから生まれてくる子どもには全盲になる危険がすぐそこにある。これを「重篤」と言えないだろうか。しかも今ならそれを避ける方法があるというのにその治療を受けられないとはどういうことか。それを禁止する権利は誰にあるだろうか。誰にでも最良の医療を受ける権利がある。親になる人は誰でも健康な元気のいい子どもを望み、またそのために最善を尽くすのが生まれてくる子どもへの親の責任であろう。PGT反対者はこれを認めてしまえば次々と範囲が広がるという。それはその都度、検討すればよいではないか。非配偶者間生殖医療や、終末期医療など倫理が関与する場合には日本では非常に慎重に事を運ぶ傾向にある。その機会ごとに早急にコンセンサスを得る方策を構築しておく方が現実的であろう。PGTもそれを必要としている全国数十万組の不妊カップルと生まれてくる子の権利、福祉を損なうべきではない。

しかし、この新しい手技に反対する人々もいることにもわれわれは考慮する必要がある。日産婦では患者会と長い間討論を重ねてきた。私も「着床前診断(PGD)に反対するシンポジウム」に参加したことがある。障がいがあるとはいえ、非常に元気な方々であった。そして、その方々のお気持ちはよく理解できた。今では双方歩み寄ることはないにしても、平行線ではあるが、お互いの立場を理解しあえるところまで到達したようで、極端な反対意見はなくなった。むしろマスコミが煽り立てている傾向にある。「遺伝学的診断」に関わる報道では必ず大きな活字で「いのちの選別」のフレーズが掲載される。しかし、以前のように強い反対意見が多数寄せられることはなくなった。われわれがこの技術の発展に伴い、次々に明らかにされていく知見をいかに実臨床に導入し、自粛するかを常に考えねばならない時期に到達したとあってよい。その技術を望んでいる数十万組の夫婦がいるということ(その方々の気持ちは不妊治療の必要のない自然妊娠できる人々には到底理解できない)に対して、今現在、その疾患で苦勞している方々もいる(その方々の気持ちも我々は理解しなければならない)ことを認識しなければならない。それらの相互理解によってARTにおけるPGTは遂行されねばならないと思う。

別府平和園は順調である。特に今年は古くなった施設、子どもたちの楽しい機会計画などの危惧があったが、それらも良いタイミングでの寄贈、奉仕が与えられ、神様はすべてお見通しで、何も心配することはないと再度、安堵している。今年も子どもたちは大阪のユニバーサルスタジオジャパン(USJ)に平和園卒の大先輩から招待されたが、そこには今年USJに就職した卒園者が待っている。これは在園者への良いメッセージになると確信している。国の児童福祉計画が昨今の急激な環境状況変化に対応できているか気になるところであるが、今そこに困っている子どもたちが一定数存在するのである。私たちは行動しなければならない。

今後も皆様の温かいご支援をお願いいたします。



第26回セント・ルカセミナー

着床前診断 –とくにPGT-Aの実際

2019年6月9日(日)

ホテル日航大分 オアシスタワー 3F「紅梅の間」

〈講演1〉 演者：吉村 泰典 先生  
 (内閣官房参与／慶應義塾大学 名誉教授)  
 「着床前遺伝子スクリーニング (PGT-A)  
 – 出生前診断におけるポジショニング –」  
 座長：宮川 勇生 先生 (大分大学 名誉教授)

〈講演2〉 演者：石原 理 先生  
 (埼玉医科大学産科婦人科学教室 教授)  
 「ARTを支える法律・ガイドラインについて  
 – 諸外国とわが国の取り組み –」  
 座長：檜原 久司 先生  
 (大分大学医学部産科婦人科 教授)

〈講演3〉 演者：桑原 章 先生  
 (徳島大学大学院医歯薬学研究部  
 産科婦人科学分野 准教授)  
 「PGT-Aパイロットスタディでの経験と  
 今後の方向性」  
 座長：倉橋 浩樹 先生  
 (藤田医科大学総合医科学研究所  
 分子遺伝学研究部門 教授)

〈ランチョンセミナー1〉  
 演者：八尾 竜馬 先生  
 (扶桑薬品工業株式会社 研究開発センター)  
 「ヒト卵管内液組成に基づいた胚培養液  
 [HiGROW OVIT] の開発と展望」  
 座長：宇津宮 隆史 先生  
 (セント・ルカ産婦人科 院長)

〈ランチョンセミナー2〉  
 演者：加藤 武馬 先生  
 (藤田医科大学総合医科学研究所  
 分子遺伝学研究部門 助教)  
 「PGT解析技術の現状と問題点」  
 座長：河野 康志 先生  
 (大分大学医学部産科婦人科 准教授)

〈講演4〉 演者：田村 智英子 先生  
 (FMC東京クリニック 医療情報・遺伝カウンセリング部  
 部長 認定遺伝カウンセラー)  
 「着床前診断について話し合う  
 ~ 遺伝カウンセリングを行う立場から」  
 座長：斎藤 伸道 先生  
 (社会医療法人 天神会 新古賀クリニック  
 婦人科顧問)

〈講演5〉 演者：土持 貴志 先生  
 (九州大学大学院人文科学府人文基礎専攻  
 倫理学専修博士後期課程)  
 「遺伝子治療の倫理学  
 – 耳の聞こえない子どもがほしいと言われたら? –」  
 座長：斎藤 伸道 先生  
 (社会医療法人 天神会 新古賀クリニック  
 婦人科顧問)

昨年以上に倫理的に踏み込んだ内容で、着床前診断、着床前スクリーニングの問題を各分野の先生方がそれぞれのご専門の視点からお考えを述べられていました。



後列左から 谷口俊一 様、甲斐由布子 先生、田村智英子 先生、吉村陽子 先生、加藤武馬 先生、土持貴志 先生、八尾竜馬 先生、伊東裕子 先生、古川雄一 先生  
 前列左から 檜原久司 先生、石原理 先生、倉橋浩樹 先生、宮川勇生 先生、宇津宮隆史 院長、吉村泰典 先生、斎藤伸道 先生、桑原章 先生、河野康志 先生

## 第7回 大分性教育セミナー

## 自分も相手も傷つけないために学ぶ生と性 2019年6月16日(日)

参加者88名(大人65名・子ども23名)

トキハ会館 5F 「カトレアの間」



## 「大切なあなたへ伝えたいこと

～もっと自分(命)を大切に～」

安永 智美 先生 (福岡県警察本部 生活安全部少年課 少年健全育成室 課長補佐)

座長：宮川 勇生 先生 (大分大学 名誉教授)



## 「子どもたちの生と性を豊かに育む

～性教育における大人の課題と子どもへ伝えたい事～」

中井 良次 先生 (児童養護施設 迦陵園 ケアワーカー)

座長：谷口 久枝 先生 (ひなた女性クリニック 院長)



## 【参加者の感想：子ども】

- 命の大切さがわかった。
- 男女の違いがわかった。
- 自分の体は大切にしないといけないと改めてわかった。
- より詳しく体のことをしれたのでよかった。
- 安永先生の話は感動しながら自分の心の中に生と性とは何かを刻みこまれた。
- 中井先生の話は面白く楽しくなりながら性とは何かを知ることができた。

青木桜 森山ますみ 様 甲斐由布子 先生 古川雄一 先生 後藤裕子 師長 手島しおり  
谷口久枝 先生 中井良次 先生 宇津宮隆史 院長 安永智美 先生 宮川勇生 先生

## 【参加者の感想：大人】

- 先生方の話を聞いて性についてしっかりと学びちゃんとした知識を子どもたちに伝えていくことが大切だと思いました。
- 明日から子どもたちの接し方に少しでも生かしていけたらいいと思います。
- 大人になっても知らなかった知識を知る機会となりました。
- 正論を主張するだけでなく子どもの思いをしっかりとキャッチしてあげられるよう心がけたいと思います。
- とても心が深く感動することが多くしっかりと子どもの心を受け止めていかなければと今以上に思いました。
- 明るく楽しく正しい性教育ができるように頑張ります。
- 泣いたり笑ったり本当に充実した時間でした。これからの日本を支えていく人たちがもっと子どもをたくさん産みたい～子どもを愛おしいな～という社会になって欲しい。

## ESHRE2019 (ヨーロッパ生殖医学会)

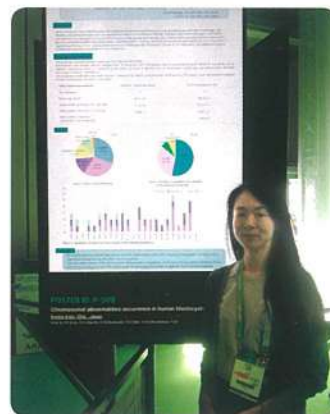
2019年6月23日(日)～25日(火) (オーストリア, ウィーン)

会場 : MESSE WIEN Exhibition & Congress Center



ウィーンで行われたESHREでポスター発表をさせていただきました。これから日本でも始まるPGT-Aについて多くの発表があり、学ぶことの多い貴重な機会となりました。  
学会以外ではウィーン、パリとさまざまな芸術に触れることができ、とても感動的な出張でした。(城戸)

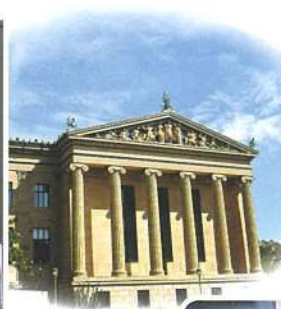
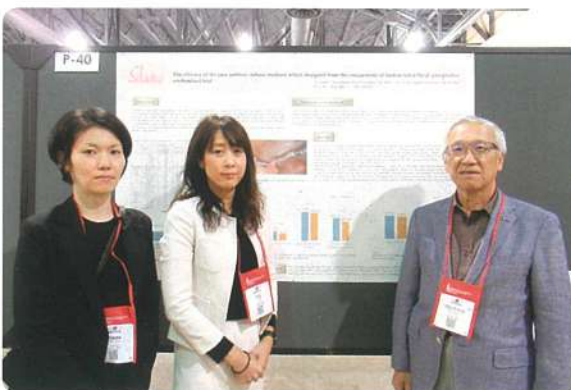
ESHRE2019に参加させていただきました。今回はウィーンで開催されました。ヨーロッパの生殖医療の現状を学ぶことができました。  
学会の他にパリにも連れて行っていただき、芸術や文化に触れることができました。(坂本)



## ASRM2019 (アメリカ生殖医学会)

2019年10月14日(月)～16日(水) (アメリカ, フィラデルフィア)

会場 : Pennsylvania Convention Center



アメリカ フィラデルフィアで開催されたASRMでポスター発表をさせていただきました。今後の研究に繋がる内容を多く学ぶことが出来、貴重な経験をさせていただきました。一人でも多くの患者さんが早く妊娠し、出産されるよう研究を進めていこうと思います。(後藤香)

今回ASRMの学会に参加させていただきました。ニューヨークとワシントンの観光をさせていただきました。ニューヨークは、エンパイアステートビルに行き、屋外からマンハッタンを一望しました。ワシントンは、スミソニアン航空宇宙博物館、リンカーン記念像に行かせていただきました。(戸高)





# 研 究 室



## ヒト卵管内液組成類似培養液 (HiGROW OVIT) の臨床的有用性が認められました

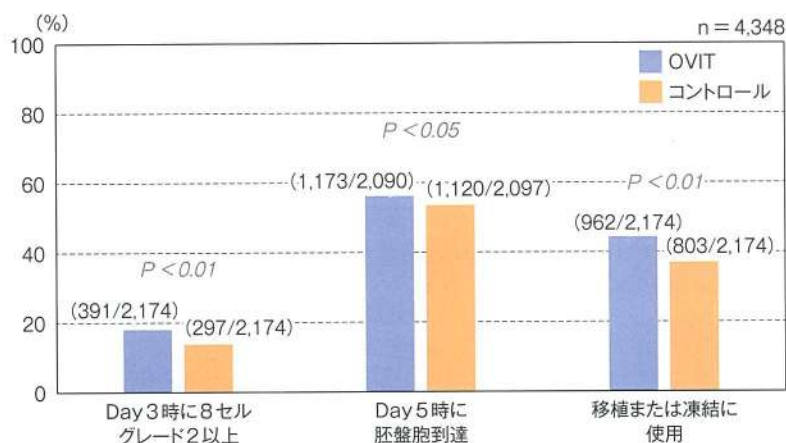
培養室 熊迫 陽子

より良い国産の培養液を目指し、日本卵子学会の培地開発委員会と扶桑薬品工業とが10年以上の歳月をかけ共同開発を行ってきました。

ヒトの卵管内の組成を詳細に分析し忠実に再現し、受精卵の体外発育のための環境をより生理的なものに近づけたワンステップ培養液が、ようやく2017年6月に販売開始となりました。

2017年6月から1年間先行販売期間とし、全国17施設より使用成績のデータを、特に4施設からは前方視的無作為比較試験 (RCT) のご協力を頂き、現在集計中です。

### アメリカ生殖医学会 (ASRM) 2019にて発表しました！



当院における臨床成績は、胚利用率 (移植や凍結に選定される胚) が OVIT で培養した方が高い結果となり、他の施設でも同様に良好な傾向が認められているようです。

妊娠率、流産率については現時点では有意差は認められていません。



### 当院で3人目の生殖補助医療管理胚培養士が誕生しました

培養室 後藤 香里

日本卵子学会は、2002年に胚培養士資格認定制度ならびに2007年に生殖補助医療管理培養士認定制度を発足しました。2018年には生殖補助医療胚培養士は1,255名、生殖補助医療管理胚培養士は19名が有資格者として全国で活躍しています。臨床の現場で培養士を管理・指導する立場の培養士として位置づけられる生殖補助医療管理胚培養士は、日本卵子学会と日本生殖医学会との共同で認定され、ARTの質的向上に寄与することが期待されています。当院では2007年の審査開始年に1名 (研究室長: 大津英子)、2016年に1名 (培養室長: 熊迫陽子) が合格し、今年の審査で1名 (後藤香里) が合格しました。全国約20名のうち3名が当院からの合格者となりました。



### 第18回生殖バイオロジー東京シンポジウムで学術奨励賞を受賞しました

培養室 後藤 香里

演題名

「子宮内膜間質細胞の脱落膜化における

Epidermal Growth Factor Receptor を介した細胞機能調節」

子宮内膜細胞は着床の時期になると Epidermal Growth Factor Receptor の発現が増加し、その受容体蛋白質を介して免疫細胞の分布の変化や絨毛細胞浸潤などを調節し、着床や妊娠維持に貢献することを報告しました。



大会長: 森本義晴 先生と

# 看護部

## 不妊患者における腹腔鏡検査後の心情調査

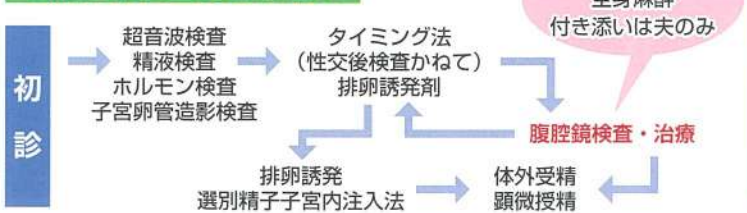
看護部 手島 しおり

### はじめに

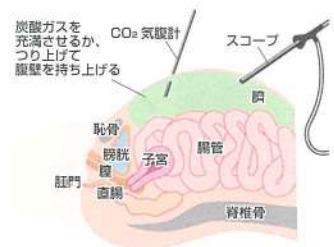
不妊治療における腹腔鏡検査の意義は、直視下に骨盤内の状況を的確に把握する事ができ、その所見から治療方針を決定できることにあります。腹腔鏡検査は卵管に異常がある患者や原因不明不妊の患者に対して有効といわれています。

今回、当院で腹腔鏡検査を受けた患者さんに、検査前後の気持ちの変化などについてアンケートを行いましたので、結果をお知らせいたします。調査に協力して下さいの皆様へ、感謝いたします。

### 当院の検査・治療の流れ



### 手術までの流れ



### 結果

図1 医師から腹腔鏡検査を勧められたときにすぐに検査を受けようと思ったか

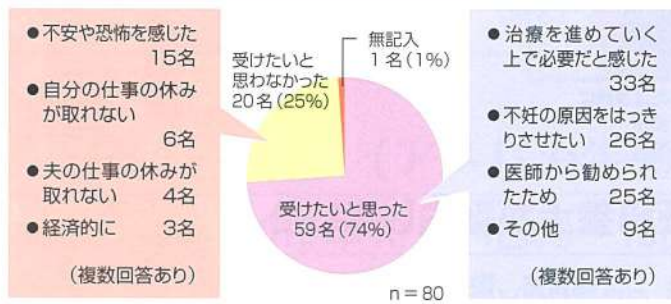


図2 実際に検査を受けて

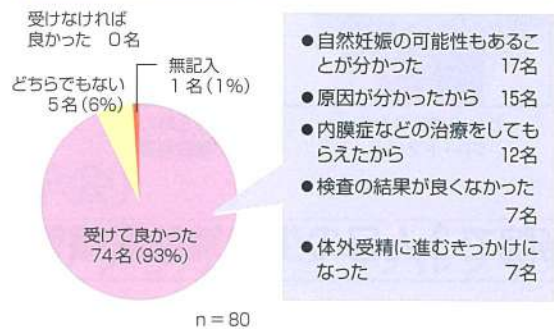


図3 検査に対して1番に望むこと

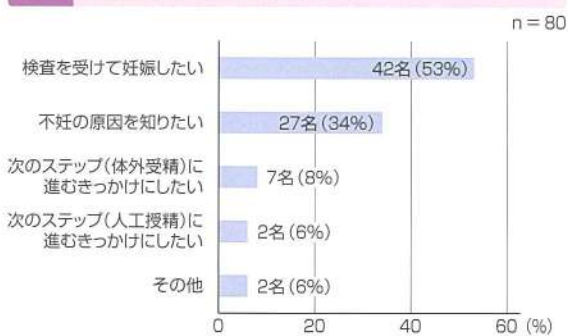
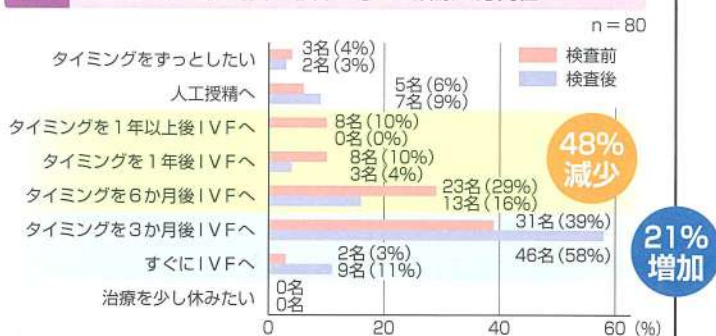


図4 検査前・検査説明後に患者が考える治療の方向性



### まとめ

半数以上の方が検査を受けたいと答えたのは、**腹腔鏡検査に対する周知がされている**ことに繋がっており、腹腔鏡検査を受けたいと思わなかった患者さんも、腹腔鏡検査を受けた後に、検査に対して**ネガティブな印象を持つ方はいませんでした**。検査を受けると**決意した背景には「妊娠したい」や、「今まで知らなかった原因を知りたい」という気持ちがある事**が分かりました。治療の方向性に関しては、**検査前よりも早く体外受精を望む患者が増加し、カップルの治療方針を明瞭にするきっかけになった**と思います。今後も分かりやすい情報提供と、不安の少ない入院生活が送れるよう支援を続けていきたいと思っております。





# 医 局



## 今年度4月から2人入局し、医師4人体制となりました！

2019年4月に福岡大学よりセント・ルカ産婦人科へ参りました伊東裕子です。福岡大学では婦人科だけでなく様々な合併妊娠も診てきたことから、やはり妊娠・分娩は元気な赤ちゃんと元気なお母さんが揃って一緒に退院できるように！という思いを強くしました。女性の社会進出や晩婚化による妊娠の高齢化はどうしてもありませんが、リスクは増やさないよう高血圧症や糖尿病、子宮筋腫など基礎疾患のある方や肥満症、喫煙者などに対する指導も妊娠前治療と位置づけ行っています。安全な不妊治療とその先にある妊娠出産に繋がるよう一人ひとりに合った診療を心がけて参りますので一緒にがんばりましょう。また、一般婦人科領域も気兼ねなくご相談ください。



医師 いとう ひろこ 伊東 裕子

### 略 歴

1999年 福岡大学医学部医学科卒業  
 2006年 大分大学大学院医学系研究科博士課程修了  
 2009年 University of Texas Southwestern medical center (米国・テキサス大学) Visiting Instructor  
 2012年 福岡大学医学部産婦人科 助教  
 2013年 福岡大学医学部産婦人科 講師  
 2019年～ セント・ルカ産婦人科勤務

### 資 格

医学博士  
 日本産科婦人科学会産婦人科専門医  
 日本生殖医学会生殖医療専門医  
 福岡大学医学部 非常勤講師



医師 ふるかわ ゆういち 古川 雄一

2019年4月から勤務しています古川と申します。これまで産婦人科医として主に大分県内を中心に働いてきました。働くうちに不妊治療に興味があり、これを専門にしたいと思いセント・ルカ産婦人科に入職しました。これまで働いてきた病院と違って専門に集中でき、日々勉強になることばかりで非常に充実しています。また、妊娠されて笑顔で診察室を出ていかれる患者さんをみてとてもやりがいを感じています。

一人でも多く不妊に悩まれているカップルの手助けをしていきたいと思っています。

よろしく願います。

### 略 歴

2002年 大分医科大学医学部医学科卒業  
 2008年 医学博士 (大分大学) 取得  
 2013年 Northwestern University (米国・ノースウエスタン大学) 医学部産婦人科 Visiting Scholar  
 2016年 中津市民病院産婦人科 部長  
 2018年 大分大学医学部産科婦人科学講座 助教  
 2019年～ セント・ルカ産婦人科勤務

### 資 格

医学博士  
 日本産科婦人科学会産婦人科専門医

### 趣 味

ギター、ドライブ、ジム、アウトドア初心者



# 受 付



受付 平田 春菜

## 不妊治療助成金について

2018年度の不妊治療助成金を集計しましたので、ご報告いたします。

申請が可能な方は、早めに書類を受付までお持ちください。

	人数(人)	申請回数(回)	助成金額(円)
大分県	113	200	54,215,000
大分市	188	342	91,225,540
他県	5	13	1,900,000
市町村	22	27	2,532,900
合計	328	582	149,873,440



### 《不妊治療助成金の申請回数・申請期間について》

		大分県	大分市
申請回数	2019年度	1) 助成の対象年齢が <b>43歳未満(妻)</b> です 2) 特定不妊治療の <b>開始年齢により、通算回数の上限が異なります</b> 40歳未満で開始した場合、期間の制限なく通算6回まで 40歳以上で開始した場合、43歳までに通算3回まで	
	申請期間	不妊治療を受けた日の属する年度の <b>3月末日まで</b>	申請対象の治療が終了した日から <b>60日以内</b>

### 手術をご検討中の皆さまへ

手術や手術前・後のお話などは、原則、院長の不在時は行いません。

学会の理事などを務めている為、会議などの急な出張が入った場合には止むを得ず変更のお願いをさせていただきますことでもありますので、予めご了承ください。

# 情報処理室

情報処理室 安部 里美

## 2018年 年報を発行しました

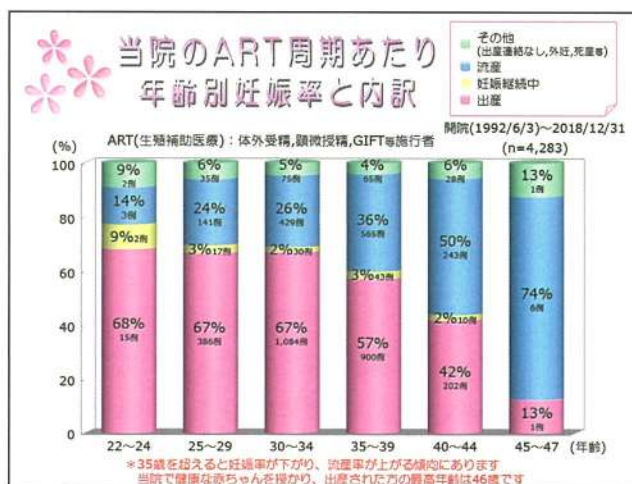
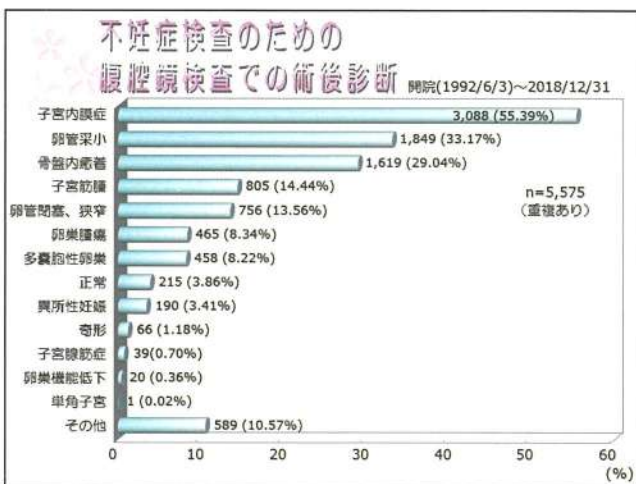


当院では、年に1度、開院からの診療データをまとめた年報を発行しています。

2019年は、2018年までのデータを集計した2018年 年報を発行しました。

年報はホームページにも掲載していますので、ご興味のある方は是非ご覧ください。

情報処理室では、年報に掲載しているデータ以外にも、様々な統計を行っています。下記にその一部をご紹介します。



セント・ルカ産婦人科では不妊治療と一般婦人科疾患(お産以外の女性疾患)の診療を行っています。

**Siluke St. Luke Clinic**

電話でのご予約・お問い合わせは TEL.097-547-1234  
〒870-0823 大分県大分市東大通1-4-5  
大分県上野の丘の徒歩2分

トップページ Top Page    クリニック案内 Clinic Guide    診療案内 Medical Info    治療内容 Treatment    講座・相談 Counseling    アクセス Access

赤ちゃん〜今ならさっと授かる〜

診察案内    アクセス

こんにちは、セント・ルカ産婦人科です。  
セント・ルカ産婦人科ではチーム医療を行っています。  
患者さん・医師(産婦人科と泌尿器科医)・看護師・ラボスタッフ・公認心理師と  
専務スタッフが互いに手を取り協力し合って治療を進めていきたいと考えています。

当院の真摯による...真面目に治療すれば7割の方が1年以内に妊娠しています。  
3割の方が治療を継続されています。

当院では徹底的な検査・診療を行い、ステップアップ方式で治療を進め、  
最終的に妊娠に至らない方に、体外受精を薦めています。

私たちは、未だ授けられなかった方が9割9分妊娠することを喜び治療を行っています。

セント・ルカ産婦人科  
〒870-0823  
大分県大分市東大通1-4-5  
TEL: 097-547-1234  
FAX: 097-547-1221  
メール: st-luke@oct-net.ne.jp

**JISAR**  
International Reproductive Society

**JISART Certifi**  
ART Center 2018-2020

当院のホームページはご覧になっていますか?  
診療予定や教室・サークルの開催予定は随時更新していますので、定期的にご確認ください。  
更新情報はトップページの Information よりご確認ください。

- ### Information
- お知らせ
- 次回の新生教室の開催予定を更新しました。(2019/10/8更新) [→こちら](#)
  - 10月のカウンセリング予約についてのお知らせを変更しました。(2019/10/1更新) [→こちら](#)
  - 2019年10月の診療予定を更新しました。(2019/10/1更新) [→こちら](#)
  - 次回の体外受精教室の開催予定を更新しました。(2019/10/1更新) [→こちら](#)
  - 次回の着床前胚染色体検査・PGT-Aについての説明会開催のお知らせ(2019/10/1更新) [→こちら](#)
  - 次回のオリブの会の開催予定を更新しました。(2019/10/1更新) [→こちら](#)
  - 2019年8月の妊娠確認表をアップしました。(2019/9/27更新) [→こちら](#)
  - 次回の赤ちゃん〜今ならさっと授かる〜講座の開催予定を更新しました。(2019/9/3更新) [→こちら](#)
  - 2019/8/31開催、赤ちゃん〜今ならさっと授かる〜講座の卒業生のお話をアップしました。(2019/9/2更新) [→こちら](#)
  - 次回のガーネットサークルの開催予定を更新しました。(2019/8/28更新) [→こちら](#)



# 心理専門相談室



**この春から心理専門相談室が2階の談話室隣りへ場所移動し、心理士も交代しました。**

5月から8月までは月5日程の稼働でしたが、9月からはほぼ毎日相談室を開けています。治療についての相談だけでなく、「心の中がもやもやする、何だか気持ちが落ち着かない、ちょっと誰かと話したい」、そんな時にもぜひご利用ください。予約制となっておりますが、当日でも対応できることがありますので、受付でお気軽におたずねください。お待ちしております。



## 自己紹介



公認心理師・臨床心理士

**雲井 小夜子**

入職してまだ日が浅く、日々勉強中です。治療に通われている皆様の気持ちが少しでも楽になるようお手伝いしていきたいと思っています。よろしく願い致します。



公認心理師・臨床心理士・生殖心理  
カウンセラー・がん生殖専門心理士

**上野 桂子**

前任者の退職に伴い、6年ぶりに皆様とお会いすることになりました。週に一回相談室に来ていますので、ゆっくりお話できる場所としてお気軽にご利用ください。どうぞよろしく願いいたします。



# 新人紹介



**関 洋美**  
【受付】

初めての事ばかりですが、沢山の患者さんと接していく中で成長していきたいと思っています。一所懸命頑張ります。よろしく願いします。



**小林 あやね**  
【研究室・培養室】

初めてのこともありますが、一日でも早く患者さんや病院の役に立ちたいと思っています。一生懸命頑張りますので、よろしく願いします。



**甲斐 忍**  
【看護部】

不妊分野は初めてで戸惑う事も多いですが、患者さんに寄り添った看護が提供できるように知識を深めていきたいと思いません。宜しく願いします。



**大津 仁美**  
【看護部】

治療内容をしっかりと理解し、患者さんに安心・安全な看護が提供できるよう日々努力していきます。患者さんと一緒に勉強していきたいと思いません。よろしく願いします。



**芳山 愛実**  
【看護部】

不妊分野は初めてで、未熟な点も多いですが日々学びを深めて患者さんに安心して頼っていただけるような看護師を目指していきます。宜しく願いします。





# 厨 房



厨房 油野 亜由美

## 葉酸について

妊娠を希望している女性、または妊娠の可能性のある女性は、1日に400<sup>マイクログラム</sup>μg摂取することが望ましいとされています。



### 効率のよい食べ方

造血作用などとともに働くビタミンB<sub>12</sub>や葉酸の働きを強くするビタミンCとともにとるとより効果が期待できます。

### 葉酸を多く含む食品(100g当たり)

- 藻類 … 焼きのり(1900μg)
- 肉類 … 鶏・牛レバー(1300μg・1000μg)
- 魚介類 … たたみいわし(300μg)
- 野菜類 … 枝豆(320μg)
- モロヘイヤ(250μg)
- ブロッコリー(210μg)
- グリーンアスパラガス(190μg)
- etc…



※名前の通り、葉野菜に豊富で、とくに緑色の野菜に多く含まれています。

動物性食品の中ではレバーに非常に多く、魚介では丸ごと食べる小魚や貝類に豊富です。



葉酸は水に溶けやすい性質で、光や加熱に弱く、酸化しやすい栄養素です。食品を買ってきたらすぐに冷蔵庫や冷暗所に保管し、新鮮なうちに食べるようにしましょう。

資料：一生役立つ きちんとわかる栄養学／飯田薫子、寺本あい監修

## 小松菜とえのきの辛子和え

### 材 料

小松菜 \_\_\_\_\_ 1袋  
えのき \_\_\_\_\_ 1袋

### 調味料

酒 \_\_\_\_\_ 50cc  
砂糖 \_\_\_\_\_ 小さじ2  
濃口しょうゆ \_\_\_\_\_ 大さじ2  
練りからし \_\_\_\_\_ 10g

●調味料は少し多めに作っています

\*小松菜の他にもホウレン草や、えのきの他にこんにゃくなどを使うのもオススメです。

### 作り方

- ① 鍋に酒を入れ、火にかける。  
(※アルコールを飛ばす)
- ② ①とその他の調味料を混ぜ合わせておく。
- ③ 小松菜を茹で、2cm幅に切る。  
えのきは4等分に切り、茹でる。
- ④ ②と③を混ぜ合わせ、味を馴染ませる。



旬の食材を使って  
栄養価UP!!



# セント・ルカ産婦人科 開院27周年

2019年6月3日(月)

今年は各部署に新しいスタッフが加わって、医師も4人の新体制となりました。また改めて気を引き締め、各部署との連携を取りながらチーム医療に邁進していきたいと思ひます。

## 開院から2018年12月までの成績

外来患者数 ————— 28,240人  
 男性 ————— 10,466人  
 女性 ————— 17,774人  
 拳児希望女性数 ————— 13,771人

妊娠件数 ————— 8,994件  
 妊娠に至らなかった女性 ————— 6,286人  
 患者あたりの妊娠率 ————— 54.4%  
 [(13,771-6,286) / 13,771]

※治療を途中で諦めた女性 ————— 6,148人  
 実妊娠率 ————— 98.2%  
 [(13,771-6,286) / (13,771-6,148)]

※諦めざるをえなかった  
 (無精子症、早発閉経、高齢など) — 1,579人  
 いつの間にか諦めた人 ————— 4,569人



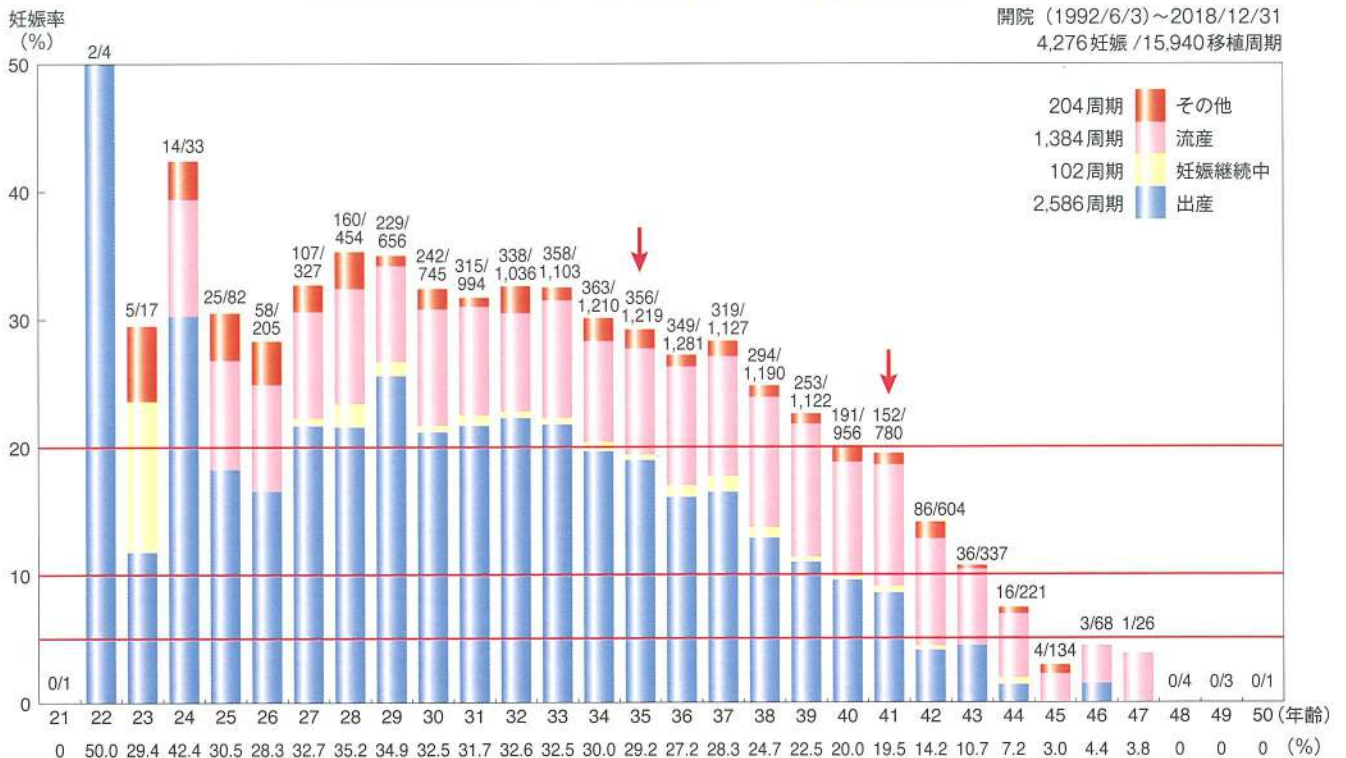
待合室



手術室

## 体外受精をしている患者さんの年齢別妊娠率

開院 (1992/6/3) ~ 2018/12/31  
 4,276妊娠 / 15,940移植周期





## 避難訓練

2019年6月4日(火)

昼間に2階のET待合室から出火した想定で実施し、全員が避難完了するまでの時間は5分48秒でした。初期消火への対応も早く、患者誘導、避難も問題なくできていたと思います。



## 西新町天満社夏季大祭 2019年7月24日(水)

無病息災、安全祈願、地域平和を祈願しました!!



## 心肺蘇生法

2019年10月1日(火)

JRC蘇生ガイドライン2015にそって、蘇生法の手順の確認、周知をしました。AEDの使用方法や注意点、30回胸骨圧迫と2回の人口呼吸の手技などを学びました。



## 避難訓練

2019年11月12日(火)

今回は初めて、手術中に火災発生の想定で実施しました。出火場所は培養室のお話部屋でした。新たな問題点も見つかり、緊急時にきちんと対応できるよう、備えていきたいと思ひます。





# 忘年会

2018年12月20日(木) トキ八会館

今回は平日のとても忙しい合間にありましたが、一年の  
労をねぎらって乾杯!!

今年も無事に過ごせたことに感謝して盛り上がりました。



院長賞は **メディテック・ルカ!**



看護部



研究室  
培養室



カーニバルパーティー





## クリスマス会

2018年12月22日(土)

患者さんも参加して、讃美歌を歌ったり日本福音ルーテル大分教会の野村陽一牧師先生のお話を聴き、クラシックの歌も楽しむことができました。



院長の毎年恒例のお話何故か新鮮に聞こえるのが不思議です。患者さんからも温かいお言葉を頂き、この出合いやこの場所でクリスマス会ができていること、全てに感謝を感じる会となりました。



# お花見

2019年3月30日(土)

今年もお花見ができ、感謝です。少し肌寒い中でしたが、皆でバーベキューを楽しむことができました。



# 2019年を振り返って

01.04 仕事始め会(セント・ルカ産婦人科 多目的室)  
01.05 第117回 新患教室 参加者60名  
参加(瀬戸口、油野、関、瀧、熊迫、糸永、恵藤、吉良、宮田、渡邊、松土、柳田)

01.08 第238回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院  
遺伝カウンセリングルーム・ルビー研修会(GCRP2018)(熊本) 参加(院長)

01.12 大分産科婦人科学会・大分県産婦人科医会臨時総会(大分) 参加(院長)

01.13 平成30年度大分県医師会がん精密検診協力医療機関研修会(大分) 参加(院長)

01.19 市民公開講座 in 福岡「もっとなりたいがん遺伝子」(福岡) 参加(院長)

01.19 九州家族性腫瘍フォーラム2019(福岡) 参加(院長)

01.19 第4回 第12期オリブの会 参加者3名

01.20 第40回 日本エンドメトリオシス学会学術講演会(東京) 参加(足立、越光、院長)  
発表:「不妊患者における子宮筋腫切除術後の癒着についての検討」(院長)

01.26 第257回 体外受精教室 参加者63名  
参加(瀬戸口、関、瀧、小池、後藤、糸永、恵藤、吉良、宮田、越光)

01.27 第7回 日本HBOCコンソーシアム学術総会(東京) 参加(院長)  
01.28 インターンシップ受入(〜1月30日まで)

02.01 第13回 大分女性医学フォーラム(大分) 参加(河邊)

02.02 第10回 遺伝カウンセリングアドバンスセミナー(東京) 参加(院長)

02.02 第66回 JISART 理事会(東京) 参加(院長)

02.03 JISART 2019年度施設認定審査説明会、審査員研修(東京) 参加(青木、城戸)

02.05 第1回 大分県産婦人科・精神科合同研修会  
平成30年度 第2回 大分県産婦人科医会・大分産科婦人科学会研修会(大分)  
参加(青木、坂本、松土、榊田、河邊、院長)

02.06 福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(院長)

02.08 おおいたインフォメーションハウス株式会社 医療専門誌「大分の頼れるお医者さん2019」取材  
02.09 第14回 治療終結を決定した元患者さんのお話 参加者13名

02.09 平成30年度 日本体育協会公認スポーツウエータ養成講習会(東京) 参加(河邊)

02.12 第234回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院  
「赤ちゃん〜今ならさっと授かる〜」講座(大分・トキハ会館) 参加者96名  
講師(越名(受付)、川村(看護部)、榊田(臨床心理士)、院長、  
わさだかがりつけ医院泌尿器科クリニック 緒方俊一先生)

02.16 第14回 PGT-Aに関する小委員会(東京) 参加(院長)

02.18 第74回 ガーネットサークル OG 1名、参加者4名

02.23 日本生殖心理学会 第10回 継続研修会(東京) 参加(青木、城戸)

02.24 第16回 日本生殖心理学会・学術集会(東京) 参加(青木、城戸、手島、後藤、院長)  
発表:「大分県の不妊治療費助成金制度について患者への聞き取り調査」(青木)

02.25 藤田医科大学総合医学研究所見学(愛知) 参加(院長)

02.26 第128回 大分県産科研究会(大分)  
参加(後藤、瀬戸口、安部、油野、関、平田、川内、青木、瀧、越名、後藤、小池、  
後藤、長木、熊迫、大津、渡邊、戸高、北田、坂本、手島、川村、松土、越光、  
後藤、榊田、河邊)  
発表:「精子正常形態率が胚発育タイムラプス所見へ及ぼす影響」(後藤香里)  
「4種のプロゲステロン製剤を使用した患者への調査」(越光直子)

05.18 第76回 九州連合産科婦人科学会・第70回 九州ブロック産科婦人科医会(福岡) 参加(伊東)  
05.21 マネジメントレビュー  
05.23 大分県立看護科学大学(大分) 講義  
参加(後藤、瀬戸口、関、小林、新野、芳山、大津、甲斐、院長)

05.25 第60回 日本卵子学会学術集会(広島) 参加(熊迫、大津、院長)  
座長:一般演題「受精・発生1」(大津英子)  
発表:「シングルステップメディウムを用いたヒト胚のアミノ酸代謝の検討」  
「新しく開発されたヒト卵管内液組成類似培養液の臨床的有用性について  
〜前方視的無作為比較試験〜」(大津英子)

05.25 日本卵子学会理事会(広島) 参加(院長)

05.26 日本卵子学会 第19回 培地開発委員会(広島) 参加(院長)

05.28 PGT-A次期計画に関する会議(東京) 参加(院長)

05.31 福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(伊東、院長)

06.01 第261回 体外受精教室 参加者66名  
参加(雲井、上野、関、川内、小林、小池、後藤、新野、芳山、大津、甲斐、手島、古川)

06.04 院内全体研修:遊覧訓練(担当:研究室・培養室)

06.04 院内全体研修:接遇について(担当:受付)

06.04 第29回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会  
倫理委員長:野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師)  
倫理委員:上野徳美先生(大分大学 名誉教授)、緒方俊一先生(わさだかがりつけ医院  
泌尿器科クリニック 院長)、河野浩先生(河野・千野法律事務所 弁護士)、  
後藤裕子(セント・ルカ産婦人科 看護師長)、近藤邦子先生(別府平和園 園長)  
五十音順)

06.07 オプザバー:伊東裕子(セント・ルカ産婦人科 医師)、古川健一(セント・ルカ産婦人科 医師)  
06.08 HBOC Scientific Exchange Meeting 2019 in Fukuoka(福岡) 参加(院長)  
第120回 新患教室 参加者53名  
参加(雲井、関、平田、川内、小林、長木、新野、芳山、大津、甲斐、松土、  
古川、伊東)

06.08 平成31年度(令和元年度)公益社団法人大分県養士会 第8回 定時総会(大分) 参加(油野)

06.09 セント・ルカセミナー(ホテル日航大分 オアシスタワー)  
講演1:「着床前遺伝子スクリーニング(PGT-A)  
〜出生前診断におけるポジショニング〜  
吉村恭典先生(内閣官房参与/慶應義塾大学 名誉教授)  
座長:宮川勇生先生(大分大学 名誉教授)  
講演2:「ARTを支える法律・ガイドラインについて  
〜諸外国とわが国の取り組み〜」  
石原理先生(埼玉医科大学産科婦人科学教室 教授)  
座長:橋原久司先生(大分大学医学部産科科 教授)  
講演3:「PGT-Aパイロットスタディでの経験と今後の方向性」  
奥原章先生(徳島大学大学院歯学部産科産婦人科学分野 准教授)  
座長:倉橋浩樹先生(藤田医科大学総合医学研究所分子遺伝学研究部門 教授)  
ランチョンセミナー1:「ヒト卵管内液組成に基づいた胚培養液  
「HIGROW OVI」の開発と展望」  
八尾電馬先生(扶桑薬品工業株式会社 研究開発センター)  
座長:宇津宮隆史(セント・ルカ産科科 院長)  
ランチョンセミナー2:「PGT解析技術の現状と課題点」  
加藤武馬先生(藤田医科大学総合医学研究所分子遺伝学研究部門 助教)  
座長:河野康志先生(大分大学医学部産科婦人科 准教授)  
講演4:「着床前診断について話し合う〜遺伝カウンセリングを行う立場から」  
田村智英先生(FMC東京クリニック 医療情報・遺伝カウンセリング部 部長)  
座長:斎藤伸道先生(社会医療法人天神会新古賀クリニック 婦人科顧問)  
講演5:「遺伝子治療の倫理学-耳目の聞こえない子どもがほしいと言われたら?」  
土持貞志先生(九州大学大学院人文科学府人文基礎専攻倫理学専修博士  
後期課程)  
座長:斎藤伸道先生(社会医療法人天神会新古賀クリニック 婦人科顧問)

06.10 株式会社ジネコフリーマジン「ジネコ」夏号(Vol.42)取材

06.11 第238回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院

06.15 オリジナル・ジャパン主催特別セミナー「日本におけるPGT-Aの現状と未来」(福岡)  
参加(城戸、大津)

06.16 第7回 大分女性学セミナー(トキハ会館)  
参加(後藤、瀬戸口、安部、矢野、関、平田、川内、青木、越名、後藤、小林、  
小池、長木、熊迫、新野、芳山、大津、甲斐、吉良、宮田、戸高、坂本、  
足立、松元、手島、松土、越光、後藤、甲斐、古川、院長)  
講演1:「大切なあなたへ伝えたいこと〜もともとの自分(命)を大切に〜」  
安永智美先生(福岡県警察本部生活安全部少年課少年健全育成室 課長補佐)  
座長:宮川勇生先生(大分大学 名誉教授)  
講演2:「子どもたちの生と性を豊かに育む  
〜性教育における大人の課題と子どもへ伝えたい事〜」  
中井良次先生(児童看護施設遊園館 ケアワーカー)  
座長:谷口久枝先生(よな女性クリニック 院長)

06.19 令和元年度 第2回 大分産科婦人科学会・大分県産科婦人科医会研修会 並びに  
第244回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分)  
参加(平田、熊迫、戸高、足立、古川、伊東、院長)

06.23 35th Annual Meeting of the European Society of Human Reproduction  
and Embryology(Vienna)  
参加(城戸、坂本、事務長、院長)  
発表:「Chromosomal abnormalities occurrence in human blastocysts」  
(城戸京子)  
「Live birth following embryo transfer using new media composed of  
human oviductal amino acid fluid for IVF-ET: A randomized trial」  
(院長)

06.28 日本受精着床学会2019年度 第1回 常務理事会(東京) 参加(院長)

06.29 第262回 体外受精教室 参加者51名  
参加(青木、小林、小池、後藤、新野、芳山、大津、甲斐、北田、古川)

07.01 2019年度 大分大学医学部医学科第6年次生「産科婦人科」学外臨床実習(〜7月13日まで)

07.05 福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(伊東、院長)

07.05 第16回 大分県母性衛生学会学術集会第1回実行委員会(大分) 参加(川村、後藤)

07.06 JISART 非配偶者間体外受精実施に向けた説明会(東京) 参加(院長)

07.06 第67回 JISART 理事会(東京) 参加(院長)

07.06 第12回 JISART 医師事務教育セミナー(東京) 参加(川内)

07.06 第12回 JISART ラボ教育セミナー(東京) 参加(小池)

07.06 第16回 JISART 看護教育セミナー(東京) 参加(手島)

07.07 第17回 JISART シンポジウムおよび総会(東京) 参加(川内、小池、手島、院長)

07.09 第239回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院

07.13 第121回 新患教室 参加者73名  
参加(関、平田、川内、青木、小林、熊迫、新野、芳山、大津、甲斐、戸高、古川)

07.14 第11回 遺伝カウンセリングアドバンスセミナー(岡山) 参加(院長)

07.16 AMED 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 苛原班令和元年度班会議(東京)  
参加(院長)

07.19 PGT-A(着床前胚染色体異常性検査)臨床研究の実施に関する説明会(東京) 参加(院長)

07.20 第263回 体外受精教室 参加者39名  
参加(雲井、関、越名、小林、小池、後藤、芳山、大津、甲斐、戸高、古川)

07.20 第1回 着床前胚染色体異常性検査:PGT-Aについての説明会 参加者37名  
参加(雲井、上野、後藤、安部、関、青木、越名、小林、城戸、後藤、芳山、  
大津、甲斐、亀井、足立、川村、松土、越光、後藤、古川、伊東)

07.21	令和元年度大分産科婦人科学会・大分県産科婦人科医学総会(大分) 参加(甲斐由、古川、伊東、院長) 発表:「ごく初期に診断し腹腔鏡手術で根治しえた腹膜妊娠の一例」(古川雄一)	10.19	第4回 第13期オリブの会 参加者3名
07.21	大分県栄養士会主催 令和元年度 生涯教育研修会(大分) 参加(油野)	10.26	第15回 治療の終結を判断した元患者さんのお話が聞ける会 参加者6名
07.26	大分県高等学校衛生看護科5年一貫コース異学年交流出張講義(大分) 参加(手島) 講義:「不妊症看護認定看護師として伝えたいこと」(手島しおり)	10.27	出生前から小児期にわたるゲノム医療フォーラム幹事会(福岡) 参加(院長)
07.27	第42回 日本産科婦人科学会性教育指導セミナー全国大会(大阪) 参加(院長)	10.27	出生前から小児期にわたるゲノム医療フォーラム(福岡) 参加(伊東、院長)
07.27	第1回 第13期オリブの会 参加者6名	10.27	JISART 施設認定審査 オブザーバー(城戸)
07.30	院内感染研修:手洗いについて(担当:看護部)	10.29	マネジメントレビュー
07.31	第2回 JAPCO 世話人会(東京) 参加(院長)	10.30	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習(大分) 参加(越光、後藤香)
08.01	第37回 日本受精着床学会総会・学術講演会(東京) 参加(熊迫、大津英、手島、松土、院長) 講演:スポンサーシンポジウム「大分県における助成制度導入の経緯と現状」(院長) 発表:「培養液別にみたヒト胚の発育とアミノ酸代謝の比較検討」(熊迫陽子) 「凍結胚融解後移植不可能であった胚の背景と染色体数異常率」(大津英子) 「不妊患者における腹腔鏡検査後の心情調査」(手島しおり) 「体外受精へのステップアップに関する検討」 ～体外受精教室前後のアンケートを比較～(松土留美)	10.31	第18回 PGT-Aに関する小委員会(東京) 参加(院長)
08.01	日本受精着床学会 2019年度理事会(東京) 参加(院長)	11.01	新職員 魚住真由美(情報処理室)
08.02	日本受精着床学会 2019年度評議員会(東京) 参加(院長)	11.02	第124回 新患教室 参加者37名
08.02	第2回 PGT-A(着床前胚染色体異常性検査)臨床研究の実施に関する説明会(東京) 参加(熊迫、大津英、手島、松土)	11.05	参加(雲井、魚住、平田、小林、城戸、芳山、大津七、甲斐由、網中、戸高、松土、古川)
08.03	第43回 日本遺伝カウンセリング学会学術集会・第26回 日本遺伝子診療学会 合同学術集会(北海道) 参加(院長) 発表:「当院の PGT-A の経験」(院長)	11.06	安全管理研修:嘔吐物と血液の処理方法(担当:看護部)
08.05	日本卵子学会および日本生殖医学会 生殖補助医療管理胚培養士認定(後藤香里)	11.07	第64回 日本生殖医学会学術講演会・総会(兵庫) 参加(城戸、後藤香、手島、松土、甲斐由、古川、伊東、院長) 発表:「培養上清中に含まれる遊離 DNA を用いた PGT-A の試み」 ～培養上清液の採取部位との比較～(城戸京子) 「子宮内膜間質細胞の脱着膜化における妊娠維持に向けた細胞機能調節」(後藤香里)
08.10	第122回 新患教室 参加者41名	11.07	日本人類遺伝学会 第64回大会(長崎) 参加(伊東、院長) 発表:「当院における PGT-A の有用性の検討」(伊東裕子)
08.13	AMED 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 葛原班令和元年度班会議(徳島) 参加(院長)	11.10	第16回 大分県母性衛生学会役員会(大分) 参加(川村、院長)
08.17	第264回 体外受精教室 参加者49名 参加(雲井、関、川内、小林、小池、後藤香、長木、芳山、甲斐由、松元、古川)	11.10	第16回 大分県母性衛生学会総会・学術集会(大分) 参加(雲井、青木、芳山、大津七、甲斐由、網中、宮田、北田、亀井、坂本、松元、川村、松土、越光、後藤香、甲斐由、古川、伊東、院長) 発表:「体外受精へのステップアップに関する検討」 ～体外受精教室前後の質問紙調査を比較～(松土留美)
08.17	第2回 着床前胚染色体異常性検査:PGT-A についての説明会 参加者26名 参加(雲井、瀬戸口、川内、小池、後藤香、長木、芳山、甲斐由、北田、亀井、松元、古川)	11.12	院内全体研修:遊離DNA(担当:受付)
08.24	第2回 第13期オリブの会 参加者3名	11.12	第7回 里親・養子縁組の説明会～不妊治療を経て里親・縁組をされた方のお話～ 参加者4名
08.24	第76回 ガーネットサークル OG 1名、参加者4名	11.16	第267回 体外受精教室 参加者30名 参加(魚住、関、越名、小林、小池、長木、芳山、大津七、甲斐由、宮田、古川)
08.24	第26回 臨床細胞遺伝学セミナー(東京) 参加(城戸、大津英、院長)	11.16	第5回 着床前胚染色体異常性検査:PGT-A についての説明会 参加者17名 参加(魚住、小池、長木、古川)
08.25	日本生殖医学会2019年度 第1回 生殖医療従事者講習会(大阪) 参加(甲斐由)	11.16	第77回 ガーネットサークル OG 1名、参加者2名
08.27	院内全体研修:食べ物の中のエネルギーについて(担当:厨房)	11.17	第5回 西日本生殖看護グループ総会(福岡) 参加(青木、手島)
08.30	がん・生殖医療フォーラム大分世話人会(セント:ルカ産婦人科)	11.21	第50回 大分市医師会医学大会(大分) 参加(雲井、魚住、瀬戸口、安部、矢野、関、平田、川内、青木、後藤香、小池、長木、熊迫、大津英、芳山、大津七、甲斐由、網中、宮田、北田、亀井、坂本、足立、松元、手島、川村、松土、越光、古川、伊東、院長) 発表:「がん患者の妊孕性温存治療に関して」 日本 A-PART 臨床研究成果と大分における現状報告(小池恵)
08.31	第77回 「赤ちゃん～今ならきつと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 参加者53名 講師(越名(受付)、後藤香(看護部)、上野(公認心理師)、院長、わさだかかりつけ医院泌尿器科クリニック 緒方俊一先生) 参加(雲井、上野、瀬戸口、関、越名、小林、芳山、甲斐由、亀井、坂本、川村、後藤香、古川)	11.21	発表:「がん患者の妊孕性温存治療に関して」 日本 A-PART 臨床研究成果と大分における現状報告(小池恵)
09.06	第29回 遺伝学セミナー(千葉) 参加(院長)	11.22	JISART 施設認定審査 審査員(越光)
09.08	第18回 生殖バイオロンジ東京シンポジウム(東京) 参加(小池、後藤香、院長) 発表:「抗がん剤シクロフォスファミドがマウス血漿中オキシトシンに与える影響」(小池恵) 「子宮内膜間質細胞の脱着膜化における Epidermal Growth Factor Receptor を介した細胞機能調節」(後藤香里) [学術奨励賞受賞]	11.24	JISART 施設認定審査 オブザーバー(青木)
09.08	大分県栄養士会主催令和元年度生涯教育研修会(大分) 参加(油野)	11.26	院内感染研修:妊娠とインフルエンザワクチン(担当:看護部)
09.10	第240回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	11.30	第78回 「赤ちゃん～今ならきつと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 講師(青木(受付)、坂本(看護部)、上野(公認心理師)、院長、わさだかかりつけ医院泌尿器科クリニック 緒方俊一先生)
09.12	第59回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会(京都) 参加(越光、後藤香、古川、伊東、院長) 発表:「ごく初期に診断し腹腔鏡手術で根治しえた腹膜妊娠の一例」(古川雄一) 「両側卵管切除後に体外受精胚移植を施行し卵巣妊娠となった一例」(伊東裕子)	11.30	大分県栄養士会主催 令和元年度 生涯教育研修会(大分) 参加(油野)
09.12	第14回 技術認定審査コンセンサスミーティング(京都) 参加(院長)	12.06	福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(伊東、院長)
09.14	第68回 JISART 理事会(北海道) 参加(院長)	12.07	忘年会
09.15	第17回 日本生殖看護学会学術集会(東京) 参加(手島)	12.14	第268回 体外受精教室
09.18	株式会社ジネコ フリーマガジン「ジネコ」冬号(Vol.44)取材	12.14	第6回 着床前胚染色体異常性検査:PGT-A についての説明会
09.21	第3回 第13期オリブの会 参加者3名	12.20	第5回 日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会(東京) 参加(院長)
09.28	第265回 体外受精教室 参加者61名 参加(雲井、関、青木、小林、長木、新野、芳山、大津七、甲斐由、松元、古川)	12.21	第5回 第13期オリブの会 参加者2名
09.28	第3回 着床前胚染色体異常性検査:PGT-A についての説明会 参加者37名 参加(雲井、長木、網中、宮田、手島、伊東)	12.21	遺伝カウンセリング・ロールプレイ研修会(東京) 参加(伊東、院長)
10.01	院内全体研修:心臓蘇生法(担当:看護部)	12.23	クリスマス会
10.03	第50回 大分市医師会産婦人科一内分科・不妊・代謝一懇話会(大分) 参加(雲井、後藤香、瀬戸口、安部、油野、関、平田、川内、青木、越名、小林、神田、城戸、後藤香、熊迫、大津英、芳山、大津七、甲斐由、網中、戸高、北田、坂本、松土、越光、後藤香、甲斐由、古川、伊東、院長) 「私の腹腔鏡手術30年～安産で、早くで、簡単に、安全な手術を目指して～」(福岡山玉病院 名誉病院長 中村元一先生)	著書 (院長)	「不妊治療(含む生殖補助医療)で生まれた子どもに病気は多くありませんか?」 「今すぐ知りたい! 不妊治療 Q&A」 ～基礎理論から Decision Making に必要なエビデンスまで～(医学書院) 「胚培養液の進歩」臨床婦人科産科 第73巻第3号(医学書院) 「着床前診断後のフォローアップ」:網羅的手法による着床前診断のすべて ～最新技術から遺伝カウンセリング、フォローアップまで～(診断と治療社) 「子宮頸管造影法にあたっての注意」:「異所性妊娠への対処」 「不妊・不育症診療の伝承と EBM(仮称)」(中外医学社)(印刷中) 「a. 腹腔鏡検査(経腹法)」[生殖領域の外科的手法。侵襲的検査・治療のコツ ～生殖内視鏡と不妊治療のすべて～(仮称)](中外医学社)(印刷中) (大津英子) 「タイムラプス検査」[産科と婦人科]第73巻(診断と治療社)(印刷中)
10.04	福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(伊東、院長)	論文 (大津英子)	「ヒト胚の動的変化時間と染色体数異常の関係」 日本受精着床学会雑誌 36(11): 103-107, 2019
10.05	第123回 新患教室 参加者73名 参加(雲井、関、川内、小林、熊迫、大津七、網中、松土、古川)	(後藤香里)	「Decidualization modulates a signal transduction system via protease-activated receptor-1 in endometrial stromal cells」 American Journal of Reproductive Immunology 80(5): e13036, 2018
10.11	第10回 大分産科婦人科手術研究会(大分) 参加(古川)	(城戸京子)	「子宮内膜間質細胞の脱着膜化における Epidermal Growth Factor Receptor を介した細胞機能調節」日本生殖内分科学会雑誌 24: 12-17, 2019 【平成30年度学術奨励賞論文】
10.14	American Society for Reproductive Medicine Scientific Congress & Expo 2019 (Philadelphia) 参加(後藤香、戸高、事務長、院長) 発表:「The changing of cell modulation via epidermal growth factor receptor in human decidual stromal cells」(後藤香里) 「The efficacy of the new embryo culture medium which designed from the components of human tubal fluid: prospective randomized trial」(院長)		「ヒト胚盤胞における内細胞塊と栄養外胚葉のモザイク率に関する検討」 日本受精着床学会雑誌 36(11): 98-102, 2019
10.19	第266回 体外受精教室 参加者55名 参加(関、平田、小林、小池、長木、芳山、大津七、甲斐由、亀井、古川)		
10.19	第4回 着床前胚染色体異常性検査:PGT-A についての説明会 参加者17名 参加(雲井、平田、城戸、坂本、古川)		

**妊娠報告件数**  
(2018.11.1～2019.10.31)  
体外受精、顕微授精等  
**220件**  
\*  
その他(体外受精以外)  
**95件**  
計 **315件**

**編集後記**

今年は、医師が4名になり新しい風が吹き始めました。診察もゆとりがありスムーズになったのではないのでしょうか。職員も若いスタッフが増えました。日々しっかりと教育・指導をしていながら自分も一緒に成長していきたいです。来年も職員一丸となり患者さんによりよい医療が提供できるよう努めていきたいです。(新聞係)